

令和7年度 第3回 浜松市立神久呂中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年12月9日（火） 午後2時30分から午後4時まで
- 2 開催場所 浜松市立神久呂中学校 大会議室
- 3 出席委員 池谷 昭広、谷井 文明、池谷 友美子、中山 清春、
古橋 律子、伊藤 直樹、松田 友秀
- 4 欠席委員 宮澤 俊英、中居 丈幸
- 5 オブザーバー 竹本 澄生（神久呂協働センター所長）
- 6 学 校 小林 貴道（校長）、吉春 雅子（教頭）、高野 雄太（教務主任）、鈴木 義典（CS担当）、
村越 敬弘（CS担当）、小林 正樹（3年学年主任）、
八嶋 志帆（CSディレクター）
- 7 教育委員会 山本 俊行（学校・地域連携課）
- 8 傍聴者 1人
- 9 会議録作成者 CSディレクター 八嶋 志帆
- 10 議長の選出

前回の会議で、次回は伊藤 直樹委員にお願いするということで承諾をいただいております、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) いじめ防止基本方針の確認について
- (2) 3年生の進路面接について
- (3) 土日における生徒の居場所作りについて

12 会議記録

司会の鈴木義典先生から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

会議の前に委員の皆さんに授業を参観していただいた。また、高野先生より2学期の行事や活動の報告、生徒の様子を写真で見ながら紹介し、3学期の活動計画についても報告があった。

(1) いじめ防止基本方針の確認について

議長の指示により校長先生から、いじめ防止基本方針の確認について説明があり、委員から以下の発言があった。

・登校や下校の様子を見ていると、何人かでいる子もいれば一人でいる子もいるが、今のところ大きな問題はなさそうに見える。いじめがないかなど、登下校時にアンテナを立てて少しでも気付いていけたら。（池谷会長）

・いじめは見えないところで起こってしまう。気が付いたら孤立していたりする。子供がいじめた、いじめられたは、親が知っているかも重要だが、先生や親では限度がある。部活の仲間や友達同士でお互いに話し合いながら助け合うのが一番いい助け合い。（谷井委員）

・学校と家庭、学校と地域との連携は、昔と比べて今はどの程度なのか。どのようにしているのか。家庭の意見を担任の先生（学校）はどの程度把握しているのか。（中山委員）

→昔は家庭訪問や三者面談があったが、コロナ禍や働き方改革など時代の流れによって変わってきた。

お互いにいろいろな機会を逃さないように、地域の方々には遠慮なく学校行事に来ていただきたい。(校長先生)

・ボランティア活動をして、学校との距離が縮まった感じがする。子供たちも顔を覚えていてくれて、協働センター祭りでも声をかけてくれる。そんなところから自然と話したくなるような雰囲気が出ていければ、子供たちの生の声が聞けるのではと思う。ゆるく見守りたい。(古橋委員)

・家庭科のボランティア活動に参加しているので、地域で会うと声をかけてくれる。家庭科では、ボランティアさんのお家で教えてほしいという子がいたと聞いて、近い関係になって嬉しく思った。(池谷友委員)

・昔と今でははじめの形が違う。今はSNSの中にもはじめがあるのではないかな。そうなるとなかなかはじめを見つけるのは難しい。地域の方のお力もお借りしながら見守っていけたら。(松田委員)

(2) 3年生の進路面接について

3年主任の小林正樹先生から、3年生の進路面接の練習実施計画書に基づき、練習日当日の面接方法や流れの説明があった。その後、当日参加可能な方を確認した。

(3) 土日における生徒の居場所作り

校長先生から、部活動の地域展開について説明があった。それによって、土日の生徒の居場所作りについて、委員から以下の発言があった。

・平日3日の活動、中体連は参加ということで、部活とはまクルが連携していくと思うが、「強くなりたい、続けていきたい」という子もいる。部活主体なのか。クラブ主体なのか。(松田委員)

→子供たちが活動していく中で、部活やはまクル以外にもクラブを探していく子もいるのでは。土日何もなくなってしまったら、はまクルが立ち上がらなかつたら、その時地域の方から「中学生の力が必要」と言ってもらえればそれに積極的に参加したい。(校長先生)

・協働センターで中学生を募集できたらいいなと思う。家の都合で行けない子もいるし、家で遊びたいという子もいる。昔は部活だったけれど、今は何もやることがない子もいて、子供も親も大変。(池谷友委員)

・入りたくても入りたい部活がないから外部へ行く子もいる。子供みんなが本当に部活に入りたいのか。外部の活動でも、子供たちの意思が尊重できる活動ができればと思う。部活に入っている子の割合はどのくらいか。(伊藤委員)

→神久呂中は比較的に入っている。(校長先生)

・はまクルも始まったばかりなので、実際に子供たちは何をやりたいのか、走り出してからもう一回考えてみてもいいのではと思う。(谷井委員)

・受け皿を作っても肝心の生徒が来ないということもあるのでは。それも切ない。今あるものの中で生徒が参加できればと思う。(池谷会長)

→せっかく作っても単発で終わってしまったらいけない。持続できるものができたら。(校長先生)

・随分昔と変わった。昔は絶対にだったので、子供たちが自分でこうしたいという気持ちを育ててこなかった。(古橋委員)

その他連絡事項等

- ・ 職場体験担当の村越先生から、職場体験の成果と今後の課題についての説明があった。
- ・ 教頭先生から、授業支援ボランティアについて、今年度の報告と来年度も引き続きお願いしたいとお話があった。
- ・ 教頭先生から、「学校運営協議会自己評価表」の説明があった。
- ・ 司会から、次回令和7年度第4回の会議は、令和8年2月10日(火)午後2時30分から大会議室で開催する旨の報告があった。